

サガリバナ

科名 サガリバナ

別名

学名 *Barringtonia racemosa*



区分 木本類

分布 鹿児島 (奄美大島、徳之島)、沖縄、八重山
諸島、中国南部、台湾

葉の形 長楕円形

葉の縁 全縁、鋸歯

葉の先 鋭尖形

葉の種類 単葉

葉の付方 束生

葉の基部 くさび形

実の種類 そう果

花・萼色 白色、桃色

説 明 河川治いや湿地に群落を作ることが多く、高さ約10m程度になります。葉は長楕円形で長さ30cm位になり、秋には紅葉することもあります。花は白または淡い紅色で4枚、桃色をした雄しべが多数ついており、川面に落ちた姿は幻想的です。実は卵形でやや四角ばり、長さ5-6cmです。落下した実は水に浮かぶようになっていて、流され着地し発芽します。